

学業成績評価基準及び GPA 制度

(1) 成績の評価

成績は、S、A、B、C、D(C以上が合格、Dは不合格)をもって評価されます。

合否	評価	素点	評価の基準	成績証明書の表示	
合格	S(秀)	—	特に優秀な成績	S	
	A(優)	80~100	—	A	
	B(良)	70~79	—	B	
	C(可)	60~69	—	C	
不合格	D(不可)	0~59	不可	表示されない	
		R	0		出席不足
		J	0		受験せず
保留	W	0	成績保留		

成績評価について質疑がある場合は、受付期間内(成績交付後7日間以内)に教務課で所定の用紙を受け取り、必要事項を記入の上、教務課に提出してください。後に掲示・メール配信等で呼出し、回答を伝えます。受付期間を過ぎた場合は、一切受け付けません。

(2) 成績発表の方法

前期成績表および後期成績表は、学生ポータルサイト「メソフィア」に掲載しますので、必ず確認をしてください。ただし、試験期間など確認できない期間があります。詳細はオリエンテーションや掲示板で連絡します。

成績表を閲覧し、D判定の科目について再試験を希望する場合は、所定の手続き(5.試験(4)参照)をしてください。なお、再試験終了後、前期成績表は10月、後期成績表は3月に保護者宛に送付します。

(3) GPA制度(成績総合評価)

学業成績は年次毎に総合評価のポイントで表します。この数値を Grade Point Average = GPA といいます。各科目の成績は次のようにポイント化します。

成績評価記号	ポイント数	
S(秀)	4	
A(優)	3	
B(良)	2	
C(可)	1	
D(不可)	R	0
	J	

その上で、各科目のポイントにその単位数を乗じた値の合計を、履修登録した単位数の合計で除し、総合評価ポイントとします。

$$\text{GPA} = (\text{各科目のポイント} \times \text{各科目の単位数}) / \text{履修登録の総単位数}$$

※不合格科目(D)を再履修し合格した場合は、それ以前の評価に代わり、最後の評価をGPAに算入します。ただし、過去に交付した成績表のGPAについては、遡って修正することはしません。

(4) 成績総合評価の取り扱い

特待生の継続審査の際には、このGPAを利用します。基準値などの詳細は、「9.特待生制度」を確認して下さい。また、それ以外にも学業成績優秀賞や卒業時の賞の判定などには、素点の平均点などの成績総合表を利用することがあります。

毎学期、成績評価が決定した時点で当該学期のGPAが 1.0 未満または本学の定める修得単位数未満の場合は、担当教員による面談を行います。また、連続でGPAが 1.0 未満となった場合は、退学を含む指導が行われます。

(5) 上野賞・赤羽賞

成績優秀にして他の模範となる学生に対して、卒業時に上野賞および赤羽賞が授与されます。

(6) 学業成績優秀賞

各期末に、各学年において 10 名の成績優秀者を表彰します。本賞は、成績の素点平均(ゼミナール科目・他学部履修科目を除く)により審査します。表彰者に対しては、翌期の授業料の一部を減免します。ただし、他の授業料減免制度の有資格者は、表彰しますが、減免の対象にはなりません。また、次の場合は、表彰の対象とはなりません。

- ・ゼミナール科目、他学部履修科目を除く、履修登録科目数が、1年生 10 科目未満、2年生 8 科目未満
- ・素点平均が、80 点以下
- ・2年生の後期
- ・留年生